

■てんさいの殺虫剤・殺菌剤(育苗期)

区分	毒性	予防/治療	系統名	薬剤名	希釈倍率 散布水量	水量60ℓあたり 使用薬量 (1ha分)	使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	適用病害虫名							防除上の注意事項			
									テンサイトビハムシ	テンサイモグリハナバエ	カメノコハムシ	アブラムシ	苗立枯病	斑点細菌病	根腐病		成長調整		
覆土 消毒	—	予	AH・芳香族ヘテロ環	リゾレックスH粉剤	50～100g/10a分の突起板使用覆土約7L		は種前	1										ペーパーポット用の用土又は覆土に均一に混和する。	
	—	予	芳香族ヘテロ環	タチガレン液剤	500～1,000倍 3ℓ/m ² 灌注	60～120ml	は種時～生育初期 (収穫120日前まで)	3											
苗床 灌注	—	予治	抗生物質	バリダシン液剤5	400倍 3ℓ/m ² 灌注	150ml	育苗中期	1										・リゾクトニア菌に効果がある。その他の菌には効果が劣る。	
	—	予	フェニルウレア	モンセレン顆粒水和剤	200倍 (ペーパーポット1冊当り1ℓ) 3ℓ/m ² 灌注	300g	定植前	1										1m ² =3冊 10aあたり6冊のペーパーポットが必要。	
	劇	予治	SDHI	ミリオネアフロアブル	800倍 1ℓ/ペーパーポット1冊	75ml	定植前	1											
	—	予治	SDHI	リンバー顆粒水和剤	800倍 1ℓ/ペーパーポット1冊	75g	定植前	1											
	—	—	ネオニコチノイド	アクタラ顆粒水溶剤	50～200倍 3ℓ/m ² 灌注	300～1,200g	定植前	1	●	100 ～ 200 ●	50 ●	100 ●							
	劇	—	ネオニコチノイド	アドマイヤー顆粒水和剤	300～500倍 3ℓ/m ² 灌注	120～200g	定植時	1	●	300 ●	300 ●	300 ●							
	—	—	ネオニコチノイド	ダントツ水溶剤	100～200倍 3ℓ/m ² 灌注	300～600g	定植前	1	●	●	●	●							
	—	予治	抗生物質・銅	カスミンボルドー	800倍 50ml/1冊噴霧※1	3ℓ当り 3.75g(1ha分)	7日前	5											※記載内容は北海道糖業㈱の指導内容。60冊を処理するのに3ℓ必要。本圃でも使用するため苗床での使用は2回までとする。
	苗床 散布	—	—	トリアゾール	スミセブンP液剤	10～20倍 1冊当り50mL散布	3ℓ当り 150～300ml(1ha分)	本葉抽出期 (本葉長2mm以上) ～移植2週間前	1										
					100倍 1冊当り500mL散布	30ℓ当り 300ml(1ha分)													